

要 請 書（19回目）

流山市長 井崎義治 様

2022年1月18日
日本共産党流山市議団

新型コロナウイルス感染症変異株の感染急拡大による「第6波」への対応として、以下、要請する。

記

1, 医療体制の強化について

- (1) 感染者は入院もしくは宿泊施設での療養を基本とすること。そのために、病床・室と医療従事者の確保数を緊急に引き上げるよう県へ要請すること。
- (2) 各病院・市内医師会と協議し、感染者受け入れと後方支援などの機能分担を緊急に実施すること。
- (3) 宿泊療養施設を増やすとともに、臨時医療施設はただちに稼働するよう県へ要請すること。
- (4) 病院による感染者受け入れ、病床確保への補助と抜本的な引き上げを国へ要望すること。また発熱外来診療体制確保支援補助金の復活や診療報酬引き上げを国に求めること。
- (5) やむを得ず自宅療養を行う感染者への「24時間往診・訪問看護体制」を県内全域で緊急構築するよう県へ要請するとともに、市内でも引き続き体制強化を図るため、施策強化を図ること。
- (6) 県内全保健所の体制強化に向け、退職保健師をはじめとする専門職員と不急の業務は中断してでも全庁的な事務職員について、緊急増員を県に要請すること。
- (7) 全国的な医療スタッフ支援体制、広域搬送体制の緊急整備を国に求めること。

2, 大規模検査について

- (8) 県による「感染拡大傾向時の一般検査事業」について、無料検査場所の拡大、検査のための手続きなどの周知徹底、1月末までとなっている期間延長を早急に講じるよう県へ要請すること。
- (9) 予約なしでいつでも検査できるよう、検査キットの必要量を国・県に要請し、確保・供給すること。
- (10) 定期PCR検査を医療機関、学校、保育所、幼稚園、学童保育などへ拡大するよう県に要請すること。また、感染クラスターが判明した地域で、全住民を対象とするなど面的検査を実施できるよう県へ要請すること。
- (11) 市独自のクラスター対策について、物流センターやショッピングセンターなど対象を拡大するとともに、保健所の指示待ちとせず、早期対応を優先すること。

3, その他の取り組みについて

- (12) 受験にあたり、感染者の追試受験、濃厚接触者の別室受験を保障するよう県等に要請すること。
- (13) 市感染対策本部を早急に開催し、オミクロン株の感染力及びウイルス潜伏期間の短縮に対応した施策へ、下記、改正すること。
 - (ア) 配食・遠隔等サービス等、自宅療養者に対する全ての支援策について、保健所の指示待ちとせず、本人の申し出や市への電話相談等を積極的に活用できるよう制度を改正すること。
 - (イ) 学校現場の意見に則して、分散・時差登校、オンライン授業など必要な措置が講じられるよう指示すること。学校・保育所などへ、感染対策に必要な人的・物的支援を緊急に行うこと。
 - (ウ) 保育ステーションは、感染上昇急拡大の現時点で運営を中止し、未然防止に万全を期すこと。
 - (エ) 「新型コロナウイルス感染症に係る令和3年12月20日以降の市主催のイベント・集会等の取り扱いについて」を改定し、公共施設の利用制限の基準を引き上げること。また、全公共施設にFree Wi-Fiを整備し、市民ボランティア等によるリモート利用等の拡大につなげること。
 - (オ) 市職員におけるリモートワークや時差出勤等を再導入すること。
- (14) 人口増のもと、欠かせない社会的基盤となっているごみ収集事業者・従事者に対し、慰労金を市独自に支出すること。また重点措置等の発令に合

わせ、地域経済、雇用・経営、修学を支える施策が打てるよう準備すること。

(15) 3回目ワクチン接種の前倒しについて、下記、具体化を図ること。

(ア) 感染急拡大や保健所の業務ひっ迫を想定し、保健センターへの業務集中を可能な限り低減し、退職市職員にも呼びかけ、体制強化を全庁的に図ること。

(イ) 集団接種会場について、おおたかの森ホールを位置づけ、迅速な接種機会の確保に意を払うこと。

(ウ) 重症化リスクの高い高齢者などを中心に、6か月後の3回目ワクチン接種を、最大限、迅速に行うこと。